

第28回原子力安全文化有識者会議 議事概要

- 開催日時 2022年10月14日(金) 14時～16時20分
- 開催場所 松江勤労者総合福祉センター「松江テルサ」 1階ホール
- 出席者 〔社外委員〕 亀城委員、児玉委員、高尾委員、豊田委員(座長)、野津委員、山浦委員
※梅林委員は欠席
〔社内委員〕 芦谷副社長、北野取締役
〔幹事〕 高場原子力強化プロジェクト長

○ 議事内容

1. 開会あいさつ(高場幹事)

- ・島根原子力発電所2号機については、昨年9月に原子力規制委員会から原子炉設置変更許可をいただき、その後、本年6月に島根県から事前了解を受領したことで、すべての関係自治体から再稼働容認のご判断をいただいている。
- ・今般のエネルギー情勢に目を向けると、本年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻の出口が見えない中、ロシアが世界有数の資源産出国であることから世界規模での混乱が続いている。各国による代替調達先の確保に向けた資源争奪の影響もあり、電気料金の燃料費調整額をはじめエネルギー価格の高騰が続いている。
- ・昨今の価格高騰による影響は桁違いであり、当社においても企業努力で対応できる限界を大きく超えている。仮にこのような切迫した状況が続くようであれば、電気料金についても値上げせざるを得ないと考えており、先月発表したとおり、まずは値上げの検討に着手することとした。
- ・エネルギーの安全保障や経済性の確保、更には2050年カーボンニュートラルの実現という「S+3E」の観点からも、今ある原子力を安全最優先で最大限活用していくことがより一層求められていると考えており、当社としても原子力の稼働に向け、島根原子力発電所の安全対策工事について引き続き安全第一で進める所存である。
- ・原子力の稼働にあたっては、地域の皆さまからの信頼が何より重要である。「社員一人ひとりが、それぞれの職場において日々誠実に業務に取り組み、全社一丸となって原子力安全を追求することが信頼につながる」ことを、いま一度肝に銘じてまいらる。
- ・今後、同様の不適切事案が発生しないよう、当社および協力会社が一体となって再発防止対策にしっかりと取り組むとともに、有識者会議でのご意見・ご提言を今後の取組みに反映し、原子力安全文化醸成の一層の強化に努めたいと考えているので、本日は忌憚のないご意見・ご提言を賜りたい。

2. 議事

(1) 点検不備問題に係る再発防止対策の実施状況・評価ほかについて

資料にもとづき、井田電源事業本部部長および川本原子力強化プロジェクト部長から説明し、質疑を行った。

主な意見は以下のとおり。

〔「成功事例の共有」に関する意見〕

- ・失敗事例を反省するだけでなく成功事例の共有も行った方が、安全意識や仕事を円滑に進めるコツ等の蓄積につながるのではないかと。

〔「組織のあり方」に関する意見〕

- ・組織においてセクショナリズムが生じると部分最適に陥るが、事業目的の達成のためには全体最適が必要である。そのためには、社長をはじめ経営層のリーダーシップが求められる。

〔「原子力安全文化のあるべき姿」に関する意見〕

- ・原子力安全文化とは色々な考え方があるかと思うが、5年後や10年後、中国電力がどうありたいのかを考えることが重要で、そのためには、組織が点ではなく面で機能することが大切である。

〔「若手社員への指導」に関する意見〕

- ・若手社員に対し、作業や手順について理解させるためには、決められたものだから順守せよと説明するのではなく、その必要性を腹落ちさせるよう現場でしっかりと説明すべき。
- ・現場において若手社員の技能継承に不安を感じていると思うので、今後も「現場主義」、現場の声をよく聴いて対応してほしい。

〔その他意見〕

- ・電力会社の退職者が増え、原子力発電所が実際に稼働していた状態を知る人が減る状況では、社員の士気が下がってしまうのではないかと。
- ・今後、2号機の再稼働等に向けて繁忙感・緊張感が続くようであれば、社員のメンタル面のフォローや労務管理の配慮を十分に行ってほしい。
- ・電気がないと何もできないし、電気は究極の生活必需品であるので、中国電力は重要なインフラを担っているという誇りを持ち、胸を張って仕事をしてほしい。

（2）情報提供：島根原子力発電所 新規制基準適合性審査の状況ほかについて

資料にもとづき、三村電源事業本部部長から情報提供を行った。

主な意見は以下のとおり。

- ・先般、岸田総理は原子力発電所の新增設や建替えについて、従来からの方針転換を表明したが、これに関し、「島根原子力発電所3号機は新增設に該当するのか」という点を3号機の位置づけを含めて地元の説明すべきである。

- ・廃炉・解体というのは大変な作業であり、高レベル放射性廃棄物だけでなく大量の低レベル放射性廃棄物も発生することから、情報を適宜公開しながら作業をきちんと進めてほしい。

(3) 情報提供：有効期限の書き換えを行った公的身分証明書を使用した島根原子力発電所構内への入域に係る原因と再発防止対策について

資料にもとづき、岩崎島根原子力発電所所長から情報提供を行った。

主な意見は以下のとおり。

- ・発電所を施設見学する際、一時立入者の情報を事前登録すると、たとえ文字が一つ違ったとしても、案内所でチェックされて発電所構内に入ることはできない。そういった厳しいチェック体制が敷かれている中で、なぜこのような事象が発生したのか疑問に思う。案内所というのは、いわば「関所」であるので、きちんと対応してほしい。

(4) 情報提供：島根原子力発電所の安全対策工事について

資料にもとづき、岩崎島根原子力発電所所長から情報提供を行った。

3. 閉会あいさつ（高場幹事）

- ・本日は様々なご意見やご提言を賜り感謝申し上げます。
- ・「上手くいった事例の共有や蓄積をすべき」「『なぜ、その作業が必要であるのか』についてしっかり説明でき、腹落ちさせることができるか」「作業手順に無駄はないか、また整理できているか」といったものや、組織面では「『部分最適』に陥らないようにせよ」「点ではなく面として機能する必要がある」といったもの。更には「これから繁忙感や緊張感の高い日が続くであろうから、社員のメンタル面もしっかりフォローすべき」「『現場主義』で、現場の声をしっかりとよく聴くように」「中国電力は、電力の安定供給を担っているという誇りを持って頑張してほしい」といったもの。そして最後には、「3号機の必要性について、その位置づけを地元をしっかり説明する必要がある」というご意見もいただいた。
- ・本日いただいたご意見やご提言については、それを踏まえるとともに適宜取り入れさせていただき、当社および協力会社が一体となって再発防止対策に継続的に取り組みながら、原子力安全文化醸成の一層の強化に努めたい。
- ・また、こうした取組状況については、今後も有識者会議においてご報告するので、変わらぬご支援を賜るようお願い申し上げます。

以 上